

ロボットプログラミング体験教室 開催報告

1. 開催日時：令和5年11月12日（日）9：20～15：30
2. 開催場所：尼崎商工会議所 701・702会議室
3. 参加者数：36名（当日キャンセル4名）
学年 4年：13人、5年：14人、6年：9人
4. 開催の様子：



阪神ロボカップジュニア協議会 島谷
会長より開会の挨拶



(株)エアグラウンド・畠中様よりプログラ
ミングの仕組みについて講演



尼崎双星高校の高校生より、プログラ
ミングをレクチャー



実際にロボットを動かす様子



神戸工科高校の高校生よりロボットの
組み立て方をレクチャー



産業技術短期大学・二井見教授
からの講評

5. 内 容

【第1部】

(株)エアグラウンドの畠中氏より、「ロボットが身近になる未来！」と題して、プログラミングやロボットがどのように社会や仕事に活かされているか、今後の労働者人口減少に伴いIT が仕事に導入されることを中心に講演いただいた。

【第2部】

701、702会議室に子供たちが分かれ、それぞれプログラミングとロボットを動かす体験を行った。

701会議室で、尼崎市立尼崎双星高校の藤井先生と情報技術部の学生が、小学生たちにプログラミングを指導。イー・ガジェットを使用し、ライトレース体験を行い、実際にロボットを動かした。

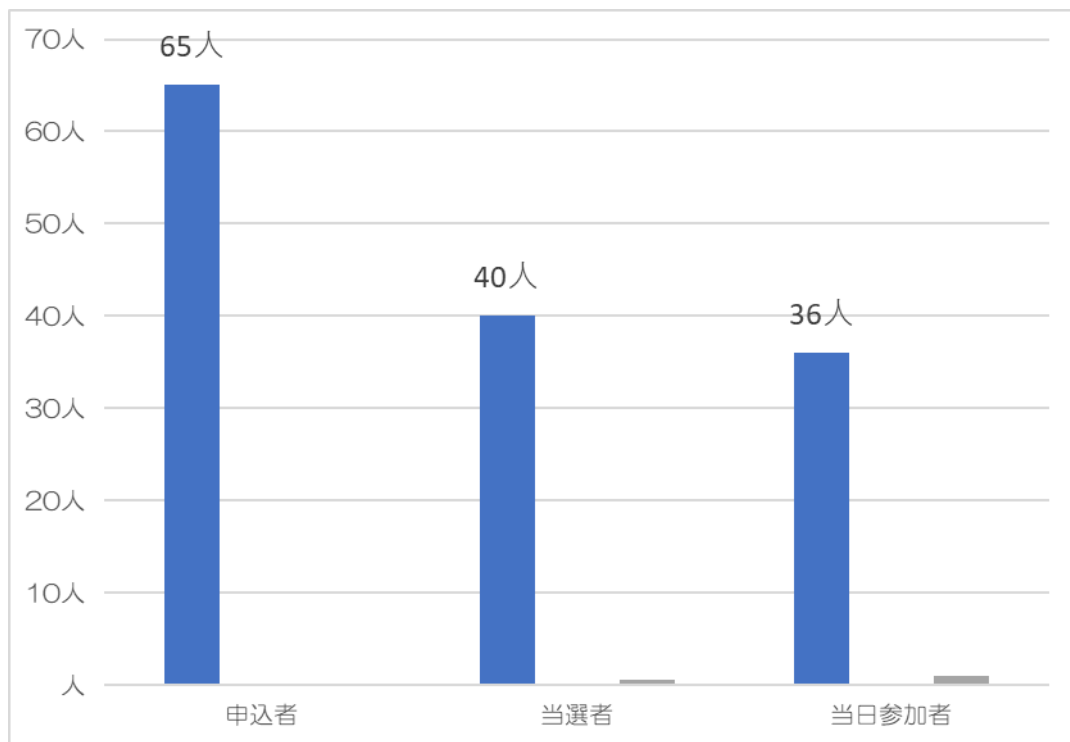
702会議室では、(株)エアグラウンドのスタッフ、二井見教授、神戸市立神戸工科高校の学生、尼崎市立尼崎双星高校の商業科の学生が指導のもと、アームロボットの組み立てを行い、実際にプログラミングを用いて動かした。

それぞれ、プログラミングがうまく組み、ロボットを思い通り動かせる場合と失敗する場合があったが、失敗を通して、成長していく小学生たちの姿を見ることが出来た。

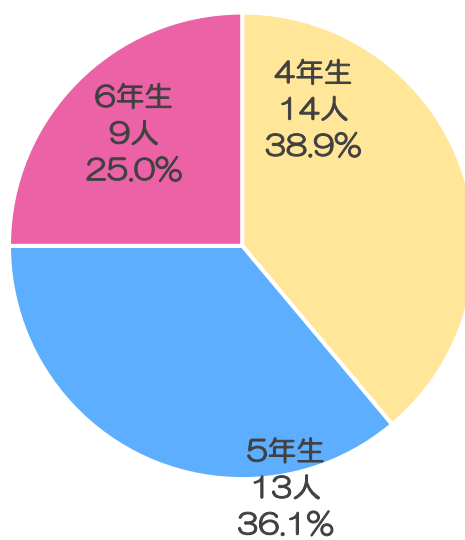
今年度は昨年度と比べ、申込者が減少したことが課題としてあげられる。小学生に記入いただいたアンケートではプログラミングを活用してゲームを作りたいという声が多かったことから、プログラミングを活用しゲームやアプリを開発している講師を選定し、申込者の増加や小学生の希望を事業へ反映できるよう検討したい。

6. 応募者情報

① 応募件数及び当選率

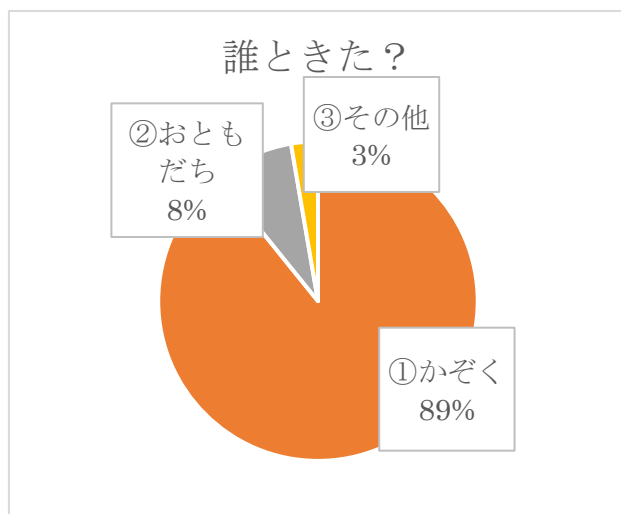


② 学年

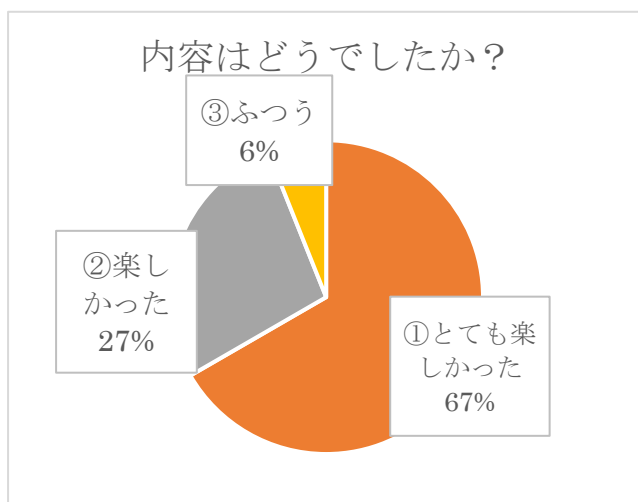


7. アンケート内容

1. 誰ときた？



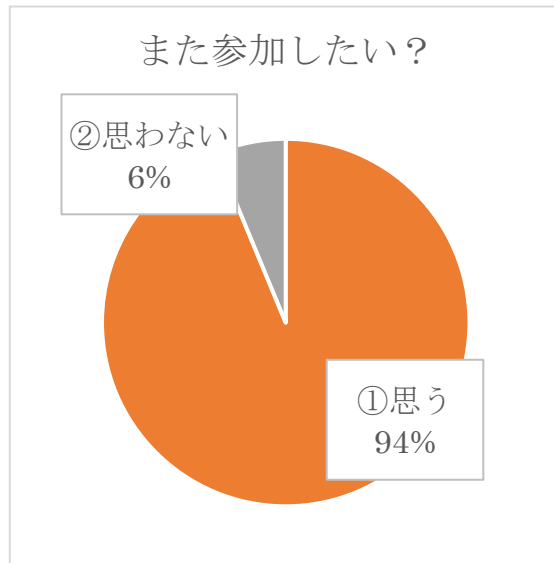
2. 内容はどうでしたか？



3. 今日の内容以外でプログラミングを使ってやりたいことはありますか？

・ゲームを作りたい	6件
・機械を使って他のものを動かしたい	3件
・実際のロボットを動かしてみたい	2件
・スクラッチでゲームを作ってみたい	2件
・新しい機器を作りたい	1件
・木を自動で切ってくれる AI 作成	1件
・ロボットを使って物をつかみたい	1件
・自動で何かを切れるものを作りたい	1件
・自動歯磨きを作りたい	1件

4. 同じようなイベントがあれば、また参加したいと思いますか？



5. 今回のロボットプログラミング体験教室は何で知りましたか？

